

第2学年生活科学学習指導案

日時 平成16年9月9日(木)5校時

児童 1年2組33名・2年2組32名 計65名

指導者 石澤 綾子 阿部 勲寿

場所 マルチホール

1 単元名「せんとくまつりをしよう」

2 単元について

本単元のねらいは、学習指導要領生活科の内容(5)の「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」を受けて、地域でお祭りが行われている由来を知り、子どもたち自身が思いを込めて自分たちのお祭りを作り上げる活動である。この活動を通して、協力することの楽しさや作り上げたことの達成感を味わいながら、自分たちの生活を工夫したり、楽しくしたりし、よりよいものにしていくことを目指している。自分たちのお祭りを実際に作り上げていくことで、自分の思いを持ちながら自主的に活動したり創意工夫したりする態度、異学年交流による協調性や思いやりが育ち、さらに友達との交流を楽しんだりするなど、今後の自分たちの生活をよりよいものにできると考える。

1学期単元の「せんとくたなばたをしよう」では、1・2年生で交流班を作り、小集団で活動した。七夕飾りに実際に触れたり、七夕の様子をVTR等で見たりすることで七夕祭りへの関心を高めることができた。さらに宮古市で七夕祭りを開催しているゲストティーチャー(以下GT)の思いに触れることで、七夕祭りをより身近に感じるとともに、作ってみたい飾りを作るためには協力しなければならないことにも気付くことができた。そして七夕飾りを作る活動を通して、みんなで作った七夕飾りの大きさや美しさを感じ、協力することでよりよいものができることを実感することができた。しかし飾りの楽しさにだけに目がいき、七夕飾りの意味や由来に興味を理解して飾り作りへとつなげることができず、思いを持ってないまま活動していた子どもや自分から声をかけることができず、同学年の仲の良い友達としか関わることのできなかつた子どももいた。意義や由来をみんな確認したり、活動の中で思いを引き出す声かけや、子ども同士の関わり合いを促す支援をしたりする必要があると考える。

活動を進めるにあたっては、「計画を立てよう」の段階で宮古秋祭りの様子をVTRで見たり、実際に神輿や太鼓などに触れたりしながら活動に対する動機付けをしていく。また、秋祭りに関わって活動しているGTの話聞き、お祭りに込められた願いに関心させながら、自分たちのお祭りを楽しいものにしていくための計画を立てられるようにする。

「お祭りの準備をしよう」では、出店や会場作り、山車や神輿の準備、招待状の作成などの対象を意識しながら制作活動に当たり、1・2年生が互いに学び合ったり、教え合ったりしながら自分たちの祭りに対する思いを表現できるようにしていきたい。また、班ごとに出店などの練習をする際に、よりよいものにするための意見を出し合ったり、工夫をしたりして活動ができるようにしたい。

「お祭りを楽しもう」では、家の人やGT、全校児童を招待して学団でせんとくまつりを行う。掲示やBGMの工夫などをして会場の雰囲気を出し、お祭りを楽しむとともに、友達のよさにも気付くようにする。

「お祭りを振り返ろう」では、活動を通して気付いたことをその後の生活に生かしていけるように視点を与えて振り返らせる。そして自分たちの地域への愛着を持ったり、生活を楽しくするための様々な行事の働きに気付いたりできるようにする。

3 単元の目標

1年生	2年生
自分たちのお祭りに関心を持って、意欲的に活動している。	自分たちのお祭りに関心を持って、意欲的に活動している。
分からないことを聞いたり、調べたりしながら自分の思いを表現している。	分からないことを調べたり、互いに意見を出し合ったりしながら自分の思いを表現している。
協力して作ることで、よりよいものを作り上げることができると気付く。	秋祭りに込められた地域の人々の願いや思いに関心を持ち、協力することの大切さに気付く。

4 単元指導計画と評価規準(総時間数18時間)

段階	時	主な活動内容	評価規準	指導・援助
計画を立てよう 本時1/4	2	1 お祭りの経験を話し合ったり、実際の道具を触ったり、見たりしながら自分たちのお祭りを作ろうとする意欲を持つと共に、疑問点を見つける。 2 GTの話の聞いたり、質問したりしながら疑問点を解決する。	楽しかった経験を話したり、道具に触れたりしながらお祭りへの意欲を持つことができる。【関=観察・カード】 GTに質問したりしながら疑問点を解決して、お祭りに対する思いを自分なりに持つことができる。【気=発表・カード】	楽しいおまつりの内容を話し合ったり、秋祭りのVTRを見たり、実際に使われた道具を触ったりしながらお祭りへの意欲を持たせる。 GTへの質問やGTの話からお祭りのねらいや内容などを聞いてお祭りに対する願いや思いを持たせる。
	2	3 せんとくまつりの計画を立てる (1) 組み団毎にどんな祭りにしたいかを決める。 (2) グループごとに計画を立てる	どんなお祭りにしたいか、自分のやりたいものを出し合いながら、グループで計画をまとめることができる。【関=観察・カード】	希望を取り、内容別のグループ編成をする。 自分たちの願いや思いがこもるような計画となるよう声かけを行う。
お祭りの準備をしよう	10	4 お祭りの準備をする。 (1) 実物を見たり、触れたりしながら製作活動をする。 ・神輿、山車 ・出店 ・ポスター ・お金 ・招待状など (2) 神輿や山車・出店の練習をする。 。 (3) 手直しをする。	自分の思いをもって、製作活動に没頭している【関=観察】 作品を工夫したり、友達と相談したりしながら活動している。【思=観察・つぶやき】 活動する中で、友達と協力して作ることよさに気付く【気=観察・つぶやき・カード】	お祭りのVTRや写真、道具などをいつでも見て、調べることができるような環境を設定する。 生活廃材などを持ち寄りよう声かけをし、集めたものは自由に使えるようにする。 力を合わせて神輿を担いだり山車を引っ張ったりするとともに、祭りを盛り上げる掛け声も工夫するようにする。 出店が円滑に活動したり、お客さんに喜んでもらったりするために売り手と買い手に分かれるようにする。
お祭りを楽しもう	3	5 会場作り 6 お祭りを楽しむ	神輿を担いだり、売ったり買ったりしながらお祭りを楽しんでいる【関=観察・カード】 友達の作品のよいところに気付いている。【気=観察・カード】	会場図をもとに見通しをもって準備ができるようにする。 売り手、買い手の両方を体験できるように活動時間を工夫する。
お祭りを振り返ろう	1	7 これまでの活動を振り返る。	活動を振り返り、自分なりに工夫して作ったお祭りに満足している【気=発表・カード】 友達と協力して作り上げることよさに気付き、これからも友達と楽しく生活しようとしている。 【気=発表・カード】 これからの地域の行事を楽しみたいという意欲を持っている。 【気=発表・カード】	VTRや写真でせんとくまつりを振り返り、自分たちの祭りをした喜びや達成感を味わわせる。 宮古の行事や他の近隣地域の行事を紹介し、関心が持てるようにする。

5 本時の指導 (1 / 1 8)

(1) 目標

【関心・意欲・態度】

・楽しかった経験を話したり、お祭りの道具等に触れたりしながら、お祭りを行うことへの意欲を持つことができる。

【思考・表現】

・気付いたことや疑問点を話したり、カードに書いたりすることができる。

【気付き】

・お祭りを楽しくするための工夫に気付き、疑問や課題を見つけることができる。

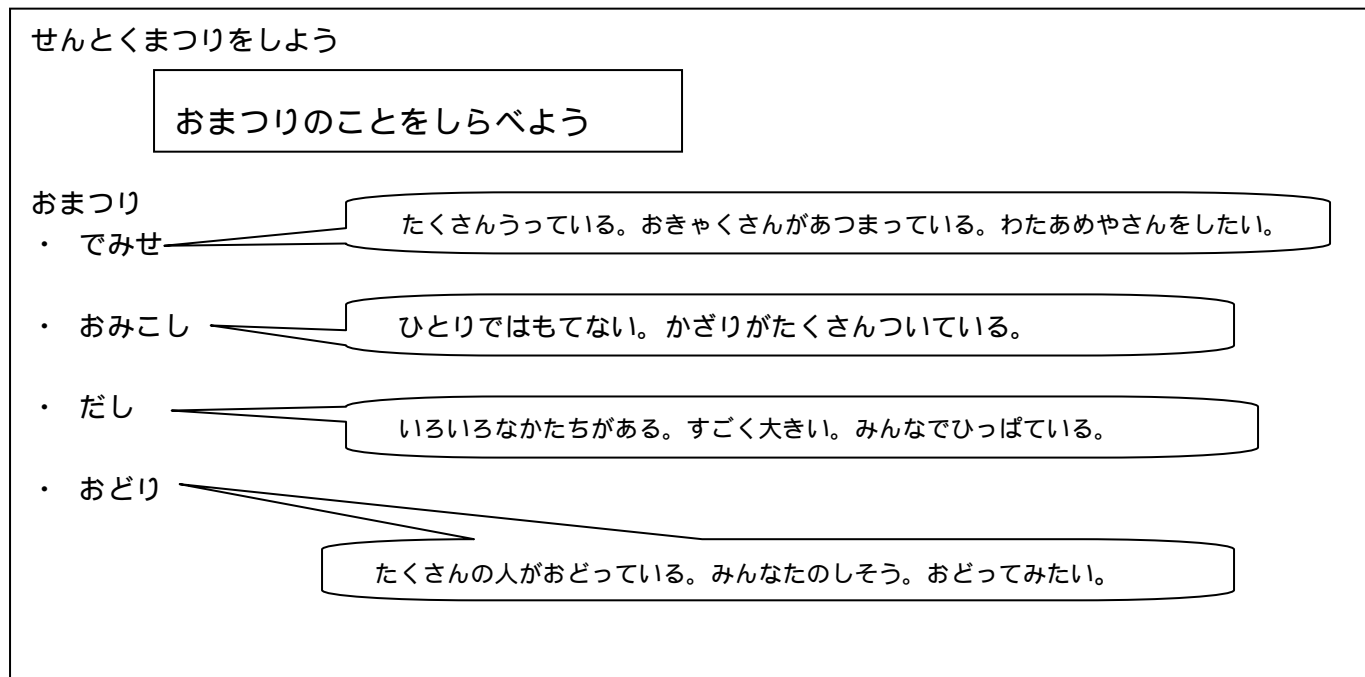
(2) 展開 (・T1、 ・T2、 共通)

	学習活動	期待する子どもの姿	教師の支援と評価 (評価)	留意点
つかむ	<p>「宮古の秋祭り」について知っていることや、今年の経験を話し合う。</p> <p>宮古秋祭りのVTRを見る。みんなで自分たちのお祭りをつくろうということを確認する。</p>	<p>宮古の秋祭りの様子について知っていることを話している。</p> <p>今年の「せんとくまつり」の感想やがんばったことを話している。</p> <p>VTRの中で見つけたものを発表し、関心を持ったものについて調べてみたいという意欲を持っている。</p> <p>「今年もお祭りをしたい」という気持ちを表している。</p>	<p>秋祭りについて知っていることを出し合うことで意欲を高める。</p> <p>出されたものを板書し、全体に広める。</p> <p>お祭りの構成要素がたくさんあることに気付かせるように自由に出させる。</p>	宮古秋祭り VTR
おまつりのことをしらべよう。				
考える・表現する	<p>VTR や写真、道具等を見たり、触ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神輿 ・ うちわ ・ はっぴ ・ 七つ踊りの衣装や道具 ・ 太鼓 ・ 写真やパンフレット ・ VTR <p>気付いたことや疑問点を発表する。</p>	<p>「やってみたい」「作ってみたい」という意欲を持っている。</p> <p>「どうしてこうなっているのだろう。」という疑問を持っている。</p> <p>「もっと知りたいな。」という課題意識を持っている。</p> <p>「どうやって作るのだろう。」という疑問を持っている。</p>	<p>自由に触らせながら、気付きを促すようにする。</p> <p>前半は班ごとに行動し、友達と会話をしたり、できるだけたくさんものに触れたりしながら、課題意識を持てるようにする。</p> <p>後半は自分が関心を持ったものをじっくり見て、疑問点・やってみたいことを見つけられるようにする。</p> <p>お祭りの道具を見たり、触ったりして、自分もやってみたいという意欲を持つことができる。</p> <p>【関=観察・つぶやき・カード】</p> <p>気付きや疑問点が共通の課題意識となるように全体に広める。</p> <p>発表者への支援をする。</p> <p>疑問点や課題を持ちカードに書いたり発表したりすることができる。</p> <p>【思=カード・発言】</p>	<p>子どもたちの気付きを促すような場の設定を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神輿 ・ うちわ ・ はっぴ ・ 七つ踊りの衣装や道具 ・ 太鼓 ・ VTR ・ 神輿や山車の様子踊りの様子 ・ 写真 ・ 神輿や山車出店 ・ パンフレットやポスター <p>関心を持った物のある場所に座らせる。</p>
まとめる	<p>本時の活動を振り返る。</p> <p>次時の見通しを持つ。</p>	<p>カードに今日の活動の感想を記入し、発表する。</p> <p>宮古の秋祭りについて話をききたいという意欲を持っている。</p>	<p>振り返りの観点を確認する。</p> <p>カードへの記入を支援する。</p> <p>観点に沿って書いている子を紹介する。</p> <p>お祭りを楽しくするための工夫に気付き、疑問や課題を見つけることができたか。【気=発言・カード】</p>	<p>観点の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年とは違った気付き ・ 友達のがんばり ・ これからどのように活動していきたいか。

6 具体的評価規準

評価規準	十分満足 (A)	概ね満足 (B)	努力を要する児童への支援 (C)
楽しかった経験を話したり、お祭りの道具等に触れたりしながら、お祭りをを行うことへの意欲を持つことができる。	昨年度の活動を想起したり、気が付かなかったことに気付いたりしながら、さらに楽しいお祭りにしたいという意欲を持っている。	お祭りの道具を見たり、触ったりして、自分もやってみたいという意欲を持っている。	一緒に道具等に触ったり、感想を問いかけたりしながら、お祭りの楽しさを感じられるようにする。
気付いたことや疑問点を話したり、カードに書いたりすることができる。	絵に解説などの書き込みを加えたり、具体的な文で気付いたことを書いたりし、実際に指し示しながら発表している。	気付いたことをカードに書いたり発表したりしている。	話を聞きながら、思っていることを引き出し、書き表し方を助言する。
お祭りを楽しくするための工夫に気付き、疑問や課題を見つけることができる。	お祭りを楽しくするための工夫に気付き、疑問や知りたいことを持っている。	お祭りについて、疑問や知りたいことを見つけている。	「どうして なのだろう。」と問いかけながら、気付きを促すようにする。

7 板書計画



8 場の設定



9 ワークシート

<資料>

「せんとくたなばたをしよう」